

平成28年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT28293 夏の教室-カイコの繭からの糸取り体験とセミの標本作製体験



開催日：平成28年7月26日(火)
平成28年7月27日(水)
実施機関：九州大学総合研究博物館
(実施場所) (九州大学箱崎キャンパス)
実施代表者：丸山宗利
(所属・職名) (九州大学総合研究博物館 助教)
受講生：小学生23名・中学生1名
関連URL：<http://www.museum.kyushu-u.ac.jp/event/previousevent01.html#hiramekitokimeki>

【実施内容】

本プログラムでは、昆虫、ひいては生物全般の存在を意識することを目的に、カイコの繭からの糸取り体験とセミの標本作製体験を実施した。また、研究の機動力となる楽しいと感じる体験、難しいことに挑戦する醍醐味を伝えた。

【プログラム実施で留意・工夫した点】

1. 実物による体験の重視
 - ・観察と採集を通じて、生きている昆虫を体感できるよう工夫した。
 - ・終了後も家庭内で興味を掘り下げることが可能なテキストを作製し、持ち帰り用の素材も準備した。
2. 講義、実習、展示のバランス
 - ・参加者の集中力をふまえ、大学の雰囲気も感じていただけるよう、講義、実習、展示を組み合わせた。
 - ・会場の展示物は、プログラム中随時見学できるようにし、博物館の雰囲気を出すことで、博物館の役割について考えるきっかけともなるようにした。
3. 採集、実習でのきめ細かな指導
 - ・実施代表者、実施分担者、実施協力者が、実習では必要な手技をきめ細かく指導した。

【当日のスケジュール】

平成28年7月26日(火)

【カイコの繭からの糸取り体験】(箱崎キャンパス旧工学部本館3階 第一会議室)

- 9:30～10:00 受付
- 10:00～10:30 開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)
- 10:30～11:00 講義「カイコのおはなし」 農学研究院 伴野豊先生
- 11:15～12:00 実習「カイコの糸とり体験」
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～14:30 実習「より糸作成」(途中休憩はさむ)
- 14:30～15:00 クッキータイム
- 15:00～15:30 修了式(アンケート記入、未来博士号授与)
- 15:30 終了

平成28年7月27日(水)

【セミの標本作製体験】(箱崎キャンパス旧工学部本館3階 第一会議室)

- 9:30～10:00 受付

- 10:00～10:30 開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)
- 10:30～11:15 実習「セミの採集」
- 11:15～11:30 移動
- 11:30～12:00 実習「セミの標本作製 準備編」
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～13:30 講義「昆虫のおはなし」 総合研究博物館 丸山宗利先生
- 13:45～14:30 実習「セミの標本作製 完成編」
- 14:30～15:00 クッキータイム
- 15:00～15:30 修了式(アンケート記入、未来博士号授与)
- 15:30 終了

【実施の様子】

7月26日(火) カイコの繭からの糸取り体験



①会場の様子



②実施協力者たちの自己紹介



③伴野先生の講義



④繭から絹糸を引き出し、より糸に加工しました。

より糸は、腕に巻いたり、葉にしたり使い方はいろいろ工夫できます⑤↑



⑥未来博士号

7月27日(水) セミの標本作製体験



①屋外での採集



②丸山先生の講義



③実施協力者の説明・指導を受けての本格的なセミの標本作製



④未来博士号の授与

【事務局との協力体制】

理学部等経理係が、委託費の管理と支出報告書の確認を行った。研究推進部 産学・社会連携課連携事業推進係が、振興会への連絡調整と、提出書類の確認・修正等を行った。総合研究博物館事務室が上記の補助業務、広報媒体の発送、参加希望者からの問い合わせ等を実施分担者に取り次ぐなどの業務を行った。

【広報活動】

- ・実施分担者が、博物館のウェブサイト、SNS を用いて本事業を PR した。
- ・九州大学広報が、6/17 日の記者懇談会で、本プログラムを紹介した。

【安全配慮】

- ・受講生と実施協力者は、レクリエーション保険に加入した。
- ・実習中の安全確保としては、会場全体を見渡す、展示物、実習中注意を要する箇所など、要所に人員を配置した。子供のみで参加している場合には、昼食を一緒にとる、送り迎えの確認などの配慮も行った。

【今後の発展性、課題】

- ・アンケート結果では参加者から高い評価を頂き、充実したプログラムが実施できたと感じている。
- ・昨年に引き続き参加を希望された方も多くいらした。
- ・参加希望者の兄弟姉妹も参加可能にすることで、家族での参加が容易となり、プログラムと一緒に体験することで帰宅後の興味の掘り下げにも期待が持てた。
- ・大学の移転が進んでおり、教員、協力学生のキャンパス間移動の負担が大きくなり、事業への協力依頼が難しくなっている。

【実施分担者】

米元 史織 総合研究博物館・助教
伴野 豊 農学研究院・准教授
福原 美恵子 総合研究博物館・技術補佐員

【実施協力者】 12 名

【事務担当者】

寺田 浩一 研究推進部・部長
永島 彰 研究推進部産学・社会連携課連携事業推進係・係長
酒井 純 九州大学理学部等事務部学術企画係・事務補佐員
益森 治巳 総合研究博物館・専門員
松尾 和歌子 総合研究博物館・事務補佐員
佐藤 愛 総合研究博物館・事務補佐員